

いまの大阪府政・ 大阪市政を 変えるチャンス



府知事、大阪市長が辞職し、統一地方選挙との同時選挙が取りざたされるなか、「誰もが安心して生活できる大阪をつくろう 3.3春をよぶ府民のつどい」が大阪市中央公会堂で開かれました。

「反維新」の立憲野党・各界のみなさんが勢ぞろい。いまの府政・市政を変えるチャンス! 「府民みんなの力で、都構想NO! カジノよりくらしに、維新政治に終止符を!」との決意を固めあいました。(裏面参照)

合言葉は

「カジノよりくらしの 安心・希望」です

大阪経済を元気に

福祉や医療、教育の充実で、府民のくらしを向上させ、99%を占める中小企業を活性化させることが大阪経済の成長につながり、元気にする最大の保障です。

維新 「成長戦略」はカジノ(パクチ)、巨大ベイエリア開発はすでに破たん済みです。

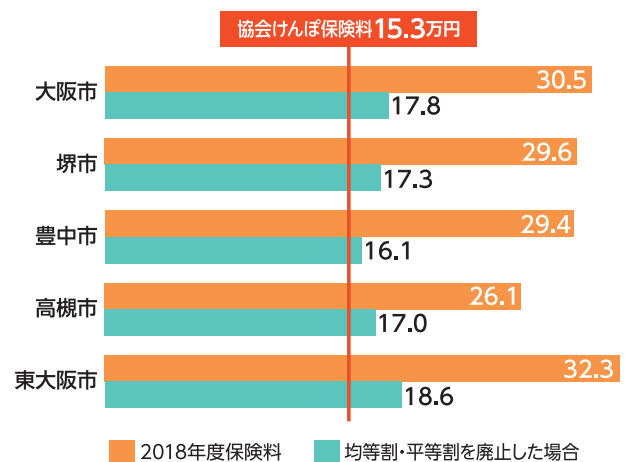


府民の くらしを元気に

国民健康保険料や介護保険料の負担を大幅に軽減、子どもの貧困対策や高齢者の介護支援など、誰もが安心してくらす大阪府・市をめざします。

国保料を公費負担増で「けんぽ」並みに大幅値下げ

年収300万円、30歳代夫婦と未成年の子ども2人の4人世帯の場合(万円)



維新 国保料の府独自補助の半減、福祉医療費助成制度の改悪など福祉・医療予算の削減で、府民のくらしは最悪です。

ゆきとどいた教育を

削られた教育予算を増やし、「35人以下学級」の実現や正規教職員的大幅増で、子どもの権利を保障し、ゆきとどいた教育をすすめます。

維新 「競争至上主義」教育の結果、子どもたちが「テスト漬け」にされ、校内暴力や不登校も増えています。

実は減ってる教育予算

